



大戸川ダムだより



第22号

2025年
1月発行



大戸川ダム工事事務所
事務所長 宮川 仁

新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、ダム本体や付替県道栗東信楽線の調査・設計、地域振興策の検討などを精力的に進めることができました。令和7年度からはダム本体の工事用道路と付替県道栗東信楽線の北側区間の工事に着手したいと考えているところです。皆様の多大なご協力に厚く御礼申し上げます。

今年も、職員一丸となって、「地域にとけこみ、愛されるダム」をめざして、皆様との対話を密にしながら、令和15年度の完成に向け着実に事業を進めて参ります。

引き続き、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和6年に開催・参加したおもな行事



大戸川ダム公式マスコット
キャラクター名 表彰式(3.16)



TANAKAMI子ども環境クラブとの
自然観察会(4/28, 8/4, 10/20)



大津市立田上中学校3年生
職場体験(5/27-31)



高校生・大学院生
インターンシップ(7/29-8/2)



上田上学区文化祭(11/2-3)



天平の地ふれあい市場(11/4)



2024大戸川ダムフェス(11/24)



大津市立上田上小学6年生
卒業記念植樹(12/13)

令和6年度事業実施予定位置図

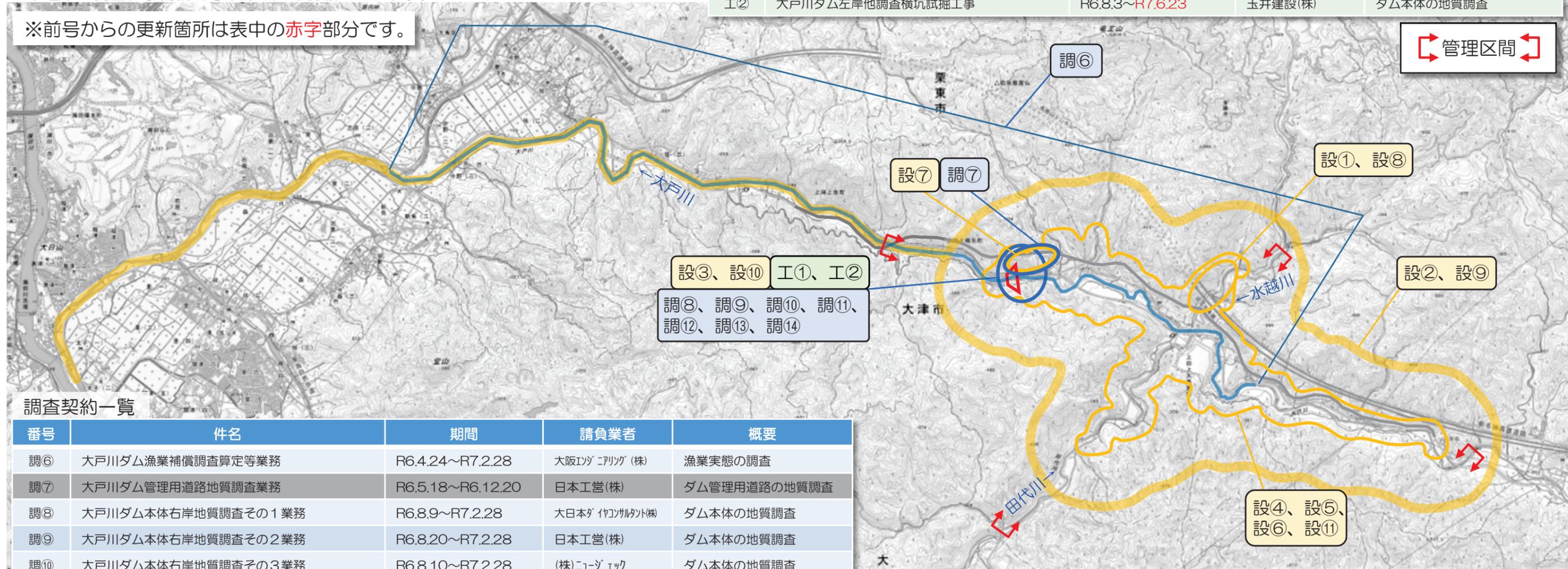
※記載の工事・業務については、主要なもの（維持作業、水理水文調査、事務補助等を除く）を記載しています。

(R6.12.31時点)

※前号からの更新箇所は表中の赤字部分です。

工事契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
工①	大戸川ダム右岸調査横坑試掘工事	R6.5.14~R7.2.28	(株)広川組	ダム本体の地質調査
工②	大戸川ダム左岸他調査横坑試掘工事	R6.8.3~ R7.6.23	玉井建設(株)	ダム本体の地質調査



調査契約一覧

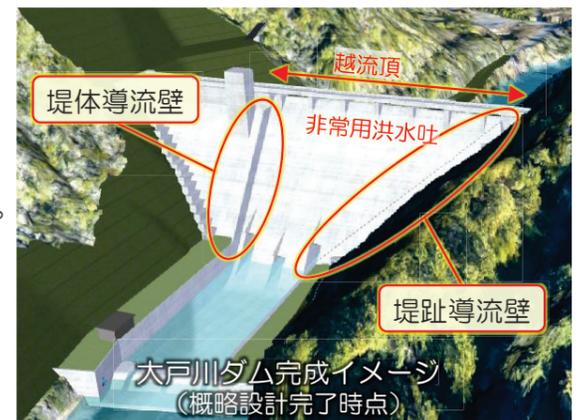
番号	件名	期間	請負業者	概要
調⑥	大戸川ダム漁業補償調査算定等業務	R6.4.24~R7.2.28	大阪エゾ・アリアツ(株)	漁業実態の調査
調⑦	大戸川ダム管理用道路地質調査業務	R6.5.18~R6.12.20	日本工営(株)	ダム管理用道路の地質調査
調⑧	大戸川ダム本体右岸地質調査その1業務	R6.8.9~R7.2.28	大日本ガイコンサルタント(株)	ダム本体の地質調査
調⑨	大戸川ダム本体右岸地質調査その2業務	R6.8.20~R7.2.28	日本工営(株)	ダム本体の地質調査
調⑩	大戸川ダム本体右岸地質調査その3業務	R6.8.10~R7.2.28	(株)ニューゼック	ダム本体の地質調査
調⑪	大戸川ダム本体右岸地質調査その4業務	R6.8.20~R7.3.25	川崎地質(株)	ダム本体の地質調査
調⑫	大戸川ダム本体右岸地質調査その5業務	R6.9.13~R7.4.30	(株)ニューゼック	ダム本体の地質調査
調⑬	大戸川ダム本体河床部地質調査業務	R6.9.12~R7.4.30	大日本ガイコンサルタント(株)	ダム本体の地質調査
調⑭	大戸川ダム本体左岸地質調査その2業務	R6.9.14~R7.4.30	(株)建設技術研究所	ダム本体の地質調査

設計・検討契約一覧

番号	件名	期間	請負業者	概要
設①	大戸川ダム栗東信楽線北部道路詳細設計業務	R5.5.2~ R7.2.27	中央復建コンサルツ(株)	付替県道栗東信楽線の設計
設②	大戸川ダム環境影響とりまとめ業務	R5.7.27~R6.12.20	日本工営(株)	環境影響のとりまとめ
設③	大戸川ダム水理検討業務	R6.2.1~R7.3.21	国立研究開発法人土木研究所	ダムの洪水吐や放流能力に関する検討
設④	大戸川ダム実施設計業務	R6.3.5~R7.3.25	(株)ニューゼック	ダム本体の詳細設計他
設⑤	大戸川ダム地質とりまとめ業務	R6.3.9~R7.2.10	(株)ニューゼック	地質調査結果のとりまとめ他
設⑥	大戸川ダム地域振興検討業務	R6.4.16~R7.3.14	(株)オイン外コンサルツ	事業用地利活用検討
設⑦	大戸川ダム管理用道路詳細設計他業務	R6.5.21~R7.6.27	(株)オイン外コンサルツ	ダム管理用道路の詳細設計
設⑧	大戸川ダム栗東信楽線北部道路落石対策工他詳細設計業務	R6.5.8~R7.5.9	(株)イト日本技術開発	落石対策、トンネル設備の詳細設計等
設⑨	大戸川ダム環境調査結果とりまとめ業務	R6.6.19~R7.2.28	日本工営(株)・(一財)水源地環境センター	環境調査結果のとりまとめ
設⑩	大戸川ダム基礎岩盤特性解析業務	R6.10.19~R7.7.31	(株)ニューゼック	ダム本体の地質解析
設⑪	大戸川ダム本体修正設計業務	(契約手続中)		ダム本体の詳細設計他

【コラム】ダムの設備② ~導流壁~

- ✓ 導流壁は、洪水吐から放流された水を安全に下流側へ流すための設備で、多くの重力式コンクリートダムで見られます。非常用洪水吐として設ける越流頂（ダムの頂部のうち、水を流すよう設計された部分）の幅に応じて設置位置・呼称が異なります。
- ✓ 越流頂の幅を狭くする場合、導流壁は堤体の中央部に置かれ、**堤体導流壁**と呼ばれます。一般的には等幅で設置されますが、水が流れる部分が徐々に狭くなる**漸縮型**も見られます。
- ✓ 越流頂をダムの頂部全体に広げる場合、導流壁はダムの端部に置かれ、**堤趾導流壁**と呼ばれます。越流頂を広げると、他の設備の簡略化・ダム全体としてのコスト縮減につながる場合があります、近年採用事例が増えています。



▲堤体導流壁の例▲

▲堤趾導流壁の例▲

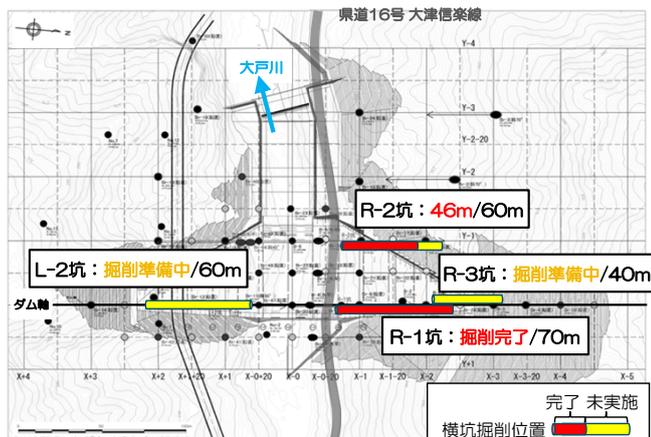
◆大戸川ダムが進捗状況（令和6年12月末時点）



イマココ

工事

- ✓ 工①では、11月より開始した右岸2箇所目の調査横坑（R-2坑、予定延長60m）での掘削作業を続けており、12月末時点で46m地点まで掘進しました。1月中に予定延長まで到達する予定です。
- ✓ 工②では、左岸の急斜面の調査横坑（L-2坑）での1月上旬の発破掘削開始に向け、準備作業を進めています。
- ✓ また、右岸高標高部にある調査横坑（R-3坑）の掘削箇所では、作業構台の設置など、掘削に向けた準備作業を引き続き行っています。



調査

- ✓ ダムサイト右岸で地質調査を行う調⑧～⑪のうち、資機材を運搬するモノレールの仮設作業が完了した調⑧、⑩、⑪でボーリング調査を実施しています。調⑨は、1月中旬のボーリング調査開始に向け、引き続き資機材の運搬を行っています。
- ✓ ダムサイト河床付近で地質調査を行う調⑫～⑭は、現場着手に向けて準備作業を進めており、このうち調⑬では、1月上旬のボーリング調査開始に向け、モノレールの仮設作業を進めています。



設計・検討

- ✓ ダムを流れる複雑な水の動きを確認するための模型実験を行う設③では、設④による最新のダム本体の設計に基づき、模型の作製を進めています。
- ✓ 1月中の契約に向けて手続きを進めている設⑪では、設④で実施したダム本体の設計をさらに精緻なものとするため、詳細な検討を行う予定です。

お知らせ

- ✓ 1月6日より、大戸川ダム工事事務所では大戸川ダムの『ダムカード』の配布を開始しました。
- ✓ 詳しくは、下記の大戸川ダム工事事務所webサイト、公式X(旧Twitter)をご覧ください。



▲大戸川ダムカード (ver.1.0)

【発行】

国土交通省 近畿地方整備局
大戸川ダム工事事務所

〒520-2144 滋賀県大津市大萱1-19-32
TEL 077-545-5675 (代表) FAX 077-543-5340
事務所webサイト <https://www.kkr.mlit.go.jp/daido/>
X (旧 Twitter) @daidogawadam



大戸川ダム 検索